

光寿苑のかお



吉田ヤエさん

【大西和賀野のいやさきお母様です♡いつも感謝です♡】

若い頃から農業やって暮らして、結婚してからは酪農を始めて、朝早くから夜遅くまで仕事して大変だった。子どもたちにはやりたい事させられて良かった。とニコヤカに話すヤエさん。手を動かす事が好きで、昔は家の衣類や布団をよく直して使っていたそう。今でも自分の衣類を裁縫される等しています。とても親切で周りを気にかけて下さる優しさは、今も昔も変わらぬと感じます。いつまでも変わらず居て下さい。

【入居者紹介】



1970年代、30代の頃のヤエさんです。白銀の中、とても笑顔まぶしいお母様!

担当 高橋龍正、刈田典子

【新人職員紹介】

今春より仲間入りしてくれました高橋辰光さんにインタビューしました(^_^)



高橋辰光さん

ゆったり穏やかな空気感でお年寄りたちのみんなに♪

安全地帯等の親世代の曲が好きです。映画は最新のマワイルド、スピード観ました。家族愛もあり最高でした。

Q この仕事をしようと思ったきっかけは？
A 小さい頃から近所のおいさんおばあさんによく声掛けしてもらったり、よくしてもらってたので、何か恩返ししたいと考えた。という感じでした。
Q 仕事の中で楽しみの一つは？
A お年寄りとお話するのが一番楽しいです。自分の知らない昔の事など教えてくれて新しい発見があるのをおもしろいです。
Q プライベートでは？
A あてのないドライブに出掛けたり、夜、海に車走らせたりします。料理作りも好きで、中華料理はハマっています。

Q 今、目標はある？
A 咳痰吸引の研修を受けたいです(介護福祉士は所持)。また、報告書を書くのが苦手なので頑張って取り組みたいです。
Q お金貯めていますか？
A 音楽や映画の観賞は、ドライブやレバッカ、安全地帯等の親世代の曲が好きです。映画は最新のマワイルド、スピード観ました。家族愛もあり最高でした。



相手を活かし、自分を活かす意識で出発します♪

【生活】「①生活・ケアマネ部門」 ☆細川るみ子☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』	
テーマ	『知る』を深めて、つながりを回復する。	
理想像	目標 ①	目標 ②
	介護技術の向上と教育の体制づくり	ウィズコロナ時代のつながりの回復
令和4年度下半期のイメージ	<p>①科学的介護『LIFE』の導入により、お年寄りの状態やケアの評価を実施(モニタリング時)</p> <p>②評価に基づき、『(新規)介護技術向上委員会』に働きかけ、その方に最適なケアを検討できる流れを作っていく。</p> <p>③必要に応じ、介護技術向上のための教育の機会を提供。</p> <p>④これらを並行し、願いや想いに焦点を当てた「個別ケア」を実践するために、誕生日やその方を知る日を設け、ケアを創造する。</p> <p>①ご家族への近況報告や意向確認の機会の増加(3ヶ月のモニタリング時等)</p> <p>②お年寄りご家族双方にとっての最適な面会方法の模索</p> <p>③ドライブ外出等、地域とのつながりの機会の回復</p>	

法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』	
テーマ	生活を回復する。	
理想像	目標 ①	目標 ②
	★生活歴の情報を実際のケアに繋げる。 ★コロナクラスターの経験を活かした対応ができる。	★生活課職員・組織が、円滑に運営されるように橋渡し役になる。
令和5年度上半期のイメージ	<p>①感染対策を取りながら、お年寄りのゆかりの場所や友人に会いに行けるようにしていく。</p> <p>②ご家族が居室や苑内に入られた際、生活を感じられるようにしていく。 ⇒感染対策をとった中で、居室での面会ができる。</p> <p>③お年寄りの機能低下防止や、離床をして交流の機会が増えるようにはたらきかける。</p> <p>①新人職員育成のためのフォローアップ</p> <p>②各部署の職員に積極的に話を聴いていく。</p>	

令和5年度の法人キーワードは『活かす』です！

【生活】「④介護部門…湯の町地区」 ☆高橋 舞☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』	
テーマ	お年寄りをよく知ろう	
理想像	目標 ①	目標 ②
	1人ひとりの「気持ち」を知ろう	介護の基本をもう一度知ろう
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①1人ひとりのその日の表情や状態を知り、また、以前の状態をケース記録等でも確認していく。 ②お年寄りの「その人らしさ」を知り、ご本人ができる事を行えるようにしていく。	①移動・移乗時のやり方をしっかり行う。 1) 個々に合った介助方法を再度共有していく。 2) 食事の際のポジショニングを再度共有していく。 3) 体位変換時の方法も共有していく。



法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』	
テーマ	"知り、得たものを"活かす。	
理想像 上半期	目標 ①	目標 ②
	★お年寄りの残存機能を活かしたケア	★介護技術を学び、活かし、安全なケアを。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①移乗・移動・食事等の介助の際、お年寄り一人一人の動きに合わせたケアをユニットで共有 ②ご家族との連絡を密に行い、知り得た情報を活かし、お年寄りが安心できる生活の場を創る。	①介助に不安を感じた際は、ユニットで相談・共有していく。 ②ユニットで解決が難しい場合は、介護技術向上委員会に相談・助言を求める。

今月の登録者の方々

13名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

コロナ禍から少しずつ活動再開♪「ひなたぼっこの日常」



左&中：お茶会「日帰りバス旅行（秋田方面）」

右：5月誕生会乾杯中♪

第1回「運営推進会議」(5月18日)

〔外部委員10名、職員4名出席〕

職1 令和5年度最初の会議となります。民生児童委員様や2名交代され、新めまして外部委員11名の皆様と共に2年間お願いして参ります。

委1 上野々地区協議会から昨年度、協賛会員としての加入のご案内をいただきました。早速加入頂きました。大変ありがとうございます。今後、地域行事等のご案内もして参りますので、湖畔の宿の入居者皆さんにも参加頂ければありがたいなと考えていますので、宜しくお願ひ致します。

委2 地域への参画はすぐ大事故な事であると思ひます。防災訓練でも、地域の方や駆けつけ応援・支援に入る。例えば、管理宿直の方やどの部屋に足の悪い利用者かいると情報を発信する事により、駆けつけた地域の方がいち早く救助に当たれる。火事等であれば、消防隊より遠く避難救助できる事もあり得ると思ひます。

職2 コロナ禍の対応の変化も考慮しながらですが、地域との繋がりを探していきたいと思ひます。

委3 利用料についてですが、例えば要介護の方や利用された場合、月だけだけの費用が掛かるものでしょうか？ひなたぼっこの場合、利用回数ではなく月単位と言われていると思いますが、プラス食費が掛かるかと思ひます。月の半分の15回利用した場合、社協のデイサービスと比較してどうなるでしょうか。

委4 デイサービスの場合、今度の方で1回1,200円ぐらいにプラス食費となりますので、月5回ですと20,000円強程です。

職1 ひなたぼっこは月包括単位ですので、比較しますと利用料は高くなります。その点、極端に言えば同じ料金が毎月利用可能であれば、ご自宅に訪問して暮らしてサポートする事ができます。また、緊急的に必要であればそのまま泊まりサービスも受けられるメリットがあります。

委3 サービス利用の種類の違いによって利用料も違ってきますね。

職1 次回、料金表を提示しますね。

職員募集

- ① 管理栄養士
- ② 調理師
- ③ 看護師
- ④ 介護士
- ⑤ 事務員
- ⑥ 生活相談員
- ⑦ 介護支援専門員



【多職種お待ちしております♪】

光寿会へのご支援おかげさまでした

面会 [5月1日～31日]

【看取り期対象】
⇒ 延べ5名 (対象入居者2名)

【対面面会】
⇒ 延べ82名 (対象入居者32名)

寄附

★ 匿名希望様 [西和賀町]

寄贈

★ 五十嵐 一雄 様 [湯之沢]

★ 西和賀町商工会女性部 様

☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]

☆ 三上 正 様 [滝沢市]

☆ 石川 顕 様 [盛岡市]

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

『共生の場』へようこそ♪

【光寿苑の新しいお仲間をご紹介します】



高橋ミネさん

★西和賀町

★明るく、お話し好きで、お子様想いのお母様です♪



高橋ツナさん

★西和賀町

★穏やかで、おどける所もチャーミングなお母様です♪

想... 災害を捉える ~岩手から発信します~

『震災の記憶②』 八重樫 敏 氏



ある程度のところまでその日の業務を閉じて、解散することにした。どう考えてもその災害復旧対応が長丁場になることか予想され、であればなおさら体力勝負になるため、我々も倒れるわけにはいかない。ちゃんと体を休ませる必要があるとの判断でした。

夜、停電で灯り一つ無い道を自宅に進みながら、すぐに来るであろう翌日以降の業務の困難さを予想しつつも、実はもう一つ気がかりなことがありました。それは、燃料の確保についてでした。

皆、自分の会社や自宅がどうなっているかも後回しにして、それぞれの会社や組合での任務に夜遅くまで何も言わずにあたりつた。たぶんテレビで見てもあったあの光景が目に焼きついてしまった。おらなのではないだろうか。そう思わずにはいられません。まだまだ余震が続く中でも、それくらい静かに淡々と業務をこなしていたわけですね。

3.11東日本大震災から12年が過ぎ、改めて当時を振り返りながら、北上市で水道工事業をされている八重樫敏氏に筆をとって頂きます。今回は2ページに渡り、全文をご紹介したいと存じます。ぜひ、ご一読下さい。

『災害を捉える②』

2011年3月11日14時46分、ある事務所の2階で作業中だった私は、遠くから今まで聞いたことのないほどの大きな迫る地鳴りを聞きました。同時に事務所内に響き渡る緊急地震速報のブザーの嵐。何が起きたか、この無いヤバさを感じて、咄嗟に近くの書類棚を押さえました。(同じ空間に居た教人も同じように書類棚を押さえました。) すぐにとんでもない大きな揺れが続いて、一度収まるかに見せてまた揺れが大きくなるという感じで、随分と長く揺れが続いた記憶があります。結果的に書類棚が倒れることは防げましたか、中の書類は見事に床に飛び出し、窓はなぜか外に吹っ飛び、その場でお互いの無事を確認した後、急いで自分の会社兼自宅に戻りました。

ちようど午前で学校が終わり帰宅していた子どもたちを、事務員さんたちも保護してくれていて、会社の前に避難していたところに到着。事務所も自宅も歩くスピードが無いぐらいにグチャグチャに散らかっていました。事務所は事務員さんにお任

八重樫 敏 氏
株式会社ヤエガシ代表取締役社長

昭和21年7月に陶器店として商いをスタート。そのおよそ6年後昭和27年4月に今の業種である水周りの工事関連としての浴槽造りであるタイル工事をスタートし、今年70年目を迎える老舗の代表。志しを語る。

『変わらない大切なもののために変わる勇気と行動力を持つ』

【ホームページより抜粋】

すでに震災当日からスタンドには列ができており、東北自動車道も止まっている。沿岸のコンビナートも被災したとのこと。しかも、被災地は岩手だけじゃない。この状況で、燃料を倉庫に必要な物資がすぐに入ってくるのだから。...

...そう考えるととても不安になり、なかなか寝つけないまま朝を迎えることになりました。

迎えた朝は朝日かとてもキレイで、我々人間の困難など、まるで関係無いように皆さんと輝いて見えたのが印象的でした。

続

せし、自宅はとりあえず放っておいて子どもたちを実家の父に頼み、社員で手分けしてお得意様の所の見回りにあたってもらい、自分は水道組合に出向いて市水道部と今後の対応の協議に入りました。

市内全域が停電中でした。水道組合事務所は発電機を接続して、最低限の電気機器を復活させて情報収集にあたりとテレビからとんでもない映像が飛び込んできます。目の当りにした皆さんであれば記憶にあると思います。あの巨大津波が沿岸各地を飲み込んでいく映像です。組合事務所が静まり返ります。...

水道部と情報共有し、まずは震災当日のオペレーションを組みます。当日の修繕は無しで、停電によって断水するであろう地区の給水所の開設と、水道水の輸送がメインだったと記憶しています。水道部は水道部で水を絶対止められない施設(病院など)特に県立中野病院へ水道水の輸送任務があり、地区給水所は我々が担当した記憶